

編集後記・・・

■刷り上がった「炉ばたセイ談」の冊子を新大同印刷の方が入来まで運んでくださったのは毎年9月の父の誕生日頃ですが、今年は色々あって少し遅れてしまいました。紙もインク代も毎年驚くほど高騰しているようですが、今年はなんとか消費税込みの250円でお願いでできてほっとしています。■とにかく、亡き母が残したと言っても過言ではないこの冊子をなんとか毎年続けて発刊したいという想いで皆さまに原稿をお願いしていますが、皆さま素晴らしい原稿をお寄せくださり感謝します。特に、十五代沈壽官さんも超のつく過密スケジュールの中、原稿をいただけて心からありがたかったですし、今年知り合ったばかりの海上保安庁の奥村太氏と東京の弁護士でいらっしやる溝口敬人様からも快く寄稿していただけて感謝の気持ちでいっぱいです。どうかこれからも入来麓から発信する「炉ばたセイ談」をよろしく願います。(入来院久子)

■今年も貴重な随筆・論文をたくさんお寄せ頂き嬉しい限りであります。ありがとうございます。

心より感謝申し上げます。出来るだけ多くの方々に読んでもらいたいという思いに駆られる冊子になりました。冊子が出来上がりましたら、早速鹿児島県立図書館に持ち込んで、所蔵してもらい、郷土資料コーナーの閲覧室に置かせてもらいたいと思っています。■入来武家屋敷群の一角から発信されるこの冊子に「入来麓の歴史のにおい」をと思い、毎年一ヶ所ずつ入来麓の史跡を紹介するシリーズ『入来麓史跡探訪』を始めました。初回として、1ページではありますが、本誌で『固心院いんぐら』を取り上げました。(下土橋渡)

「炉ばたセイ談」 第19号

炉ばたセイ談会会長 中西喜彦

編集担当 下土橋渡・入来院久子

事務局 T 895-11402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

TEL・FAX 0996-44-3586

印刷 新大同印刷株 (0996-30-1181)